

大規模施設整備事業 事後評価調書

年 月 日作成

施設 の 名 称		供 用 開 始	年 月 日		
施設 の 場 所		担当部局課名			
県の計画との関連	計画 (政策) (政策項目) (具体的な推進方策)				
<b>事業概要</b>					
1 事業目的					
2 事業目標					
	指 標 名	基準年次	基準値	目標年次	目標値
3 事業内容					
(1) 事業主体					
(2) 施設の概要及び規模 (敷地面積、建物構造、延べ床面積等)					
(3) スケジュール					
・ 当初計画期間 (着工) 年度 ~ (完成) 年度					
・ 実績期間 (着工) 年度 ~ (完成) 年度					
(4) 事業費 (百万円)					
	総事業費	用地費	本体工事費	設備費	その他
当初計画					
実績					
用地費は用地取得費と用地造成費を合わせたもの					
(5) 財源 (百万円)					
	総事業費	国庫支出金	その他特定財源	一般財源	県債
当初計画					
実績					

事業目的の検証

1 事業目的の達成状況

(1) 事業目標の達成状況

【指標名等】

(単位: )

	年度	年度	年度	年度	年度
当初計画					
実績					

(2) 事業効果、利用者等の満足度及びニーズ

2 社会経済情勢等の変化

(1) 計画当時の社会経済情勢や供用開始までの経緯等

(2) 事後評価時における社会経済情勢と計画当時との変化等

3 事業目標、運営の方向性等の見直しの必要性

## 施 設 の 検 証

### 1 施設や設備の機能の検証

( 1 ) 施設や設備の効果、利用者等の満足度及びニーズ

( 2 ) これまでの改善、見直し等の状況

( 3 ) 今後の改善、見直し等の必要性

### 2 施設や設備の構造の検証

( 1 ) 設備の安全対策

( ア ) 関連する安全基準と点検結果

( イ ) 今後の対応方針

( 2 ) 施設の耐震対策

( ア ) 耐震設計基準

( イ ) 今後の対応方針

( 3 ) ユニバーサルデザイン

( ア ) 建築時のユニバーサルデザインへの配慮

( イ ) ユニバーサルデザインに対する利用者等の満足度及びニーズ

( ウ ) 今後の対応方針

## 立地、周辺環境の検証

### 1 周辺環境の変化等

#### (1) 自然環境

(ア) 動植物、地形・地質等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

(イ) 自然環境に対する影響及び配慮

#### (2) 景観

(ア) 景観形成重点地域等の指定の状況

(イ) 景観に対する影響及び配慮

#### (3) 周辺地域へ与えた影響

#### (4) 周辺環境に対する改善の必要性

### 2 立地、アクセス等

(1) 立地、アクセスに対する利用者等の満足度、ニーズ

(2) 立地、アクセスに対する改善の必要性

収支の検証と費用便益分析

1 収支の検証

(1) 収支の状況

【当初計画】 (千円)

年度					
事業収入					
内訳					
管理運営費					
内訳					

【実績】 (千円)

年度					
事業収入					
内訳					
管理運営費					
内訳					

【直近の事業収入内訳と管理運営費内訳】

平成 年度

事業収入内訳		管理運営費内訳	
計	千円	計	千円

【施設ごとの利用状況】 主な施設及び収入を得ている施設について記載 (単位: )

	施設名					
	利用者数	利用率				
年度						
年度						
年度						
年度						

【参考：県債借入残高】 年度末現在 千円 (償還率 %)

(2) 収支についての分析

## 2 費用便益分析

### (1) 採用した費用便益分析の手法等

### (2) 費用便益分析

費用便益分析は、基本的に事前評価時（当初計画時）に算定した費用及び便益の項目について行うものとするが、地域特性を考慮して手法等に反映させた場合は、その項目について適宜追加等ができることとする。

（金額単位：百万円）

区 分		当初計画時 (基準年： 年)	事後評価時 (基準年： 年)
費 用	建設費		
	維持管理費		
	修繕費		
	総費用(C)		
便 益	移動等費用		
	利用料収入		
	総便益(B)		
費用便益比(B/C)			

実績及び改善の方向性に基づき算定

#### 【修繕計画】 主な修繕計画

修繕施設名	修繕費（千円）	改修サイクル（年）

（修繕費及び改修サイクルの考え方を記載）

### (3) 費用便益分析についての評価

## 他の施設の企画立案への反映

- 1 施設や設備設計に対する立案のあり方等について
  
- 2 立地、周辺地域への影響に対する留意点等について
  
- 3 施設規模や収支計画等に対する企画立案等について

評価対象事業の位置図、計画平面図等を添付すること。(事前評価時に比べ変更があった場合は、それがわかるように記載すること。)

本様式は、標準的な評価項目を示したものであり、事後評価を行う際には、施設の特性に応じて項目の追加や省略、修正するなど適切な評価項目を検討すること。

## 大規模施設整備事業 事後評価調書 (付表)

施設 の 名 称		供 用 開 始	年 月 日
施設 の 場 所		担当部局課名	
<p>付表には以下の資料を添付するものとし、評価調書には添付した資料名を記載する。また必要に応じて項目を追加することができる。</p> <p>(1) 位置図・事業概要図</p> <p>(2) 周辺地域の状況</p> <p>(3) 改善を要する設備等の状況(写真)</p> <p>(4) 整備前と整備後の自然環境及び景観(写真)</p> <p>(5) その他</p>			